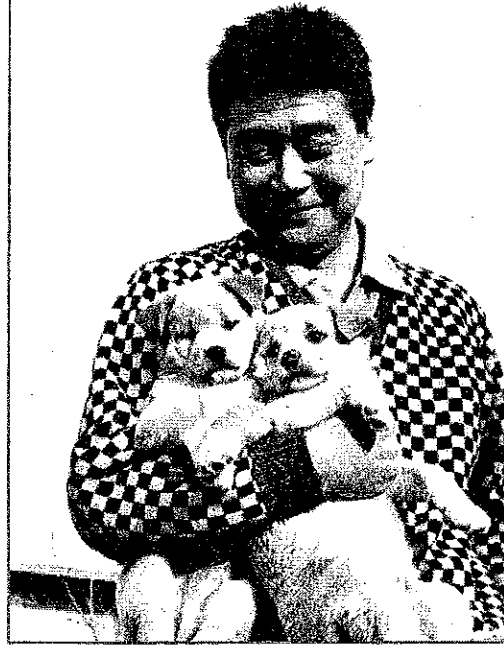


分室特別展

「作家と動物」
4月9日(土)～6月26日(日)



上：子犬の哲子(左)と豚子を抱く草野心平
1965年
写真提供：いわき市立草野心平記念文学館

右下：赤川次郎「三毛猫ホームズ」シリーズの
モデル、ミーコ 1969年頃 個人蔵

物語には、遠い昔から、さまざまな動物が出てきます。民話、おとぎ話、童話の世界では、動物はいつも人のように話したり、生活したりします。歌舞伎や狂言のなかにも、そうした動物たちが登場し、親しまれています。時代が下れば、夏目漱石の『吾輩は猫である』や、赤川次郎の『三毛猫ホームズ』シリーズのように、重要な登場人物(?)として動物が出てくる作品もいろいろあります。

自然科学の発展とともに、その正確な生態記録をもとに生まれた、「動物文学」というジャンルも親しまれているほか、多くの作家たちが、犬や猫や鳥や魚を飼い、大切な友達として暮らしています。

つまり、私たちは動物が大好きなのです。動物たちなしに文学は語れませんし、動物に関する

して広がる世界は大きなものがあります。

この展覧会は、「作品に登場する動物」(鼠、狐、猫、蛙など)、「日本の動物文学」(戸川幸夫、椋鳩十)、「作家と動物」(川端康成、坂口安吾、檀一雄、草野心平ほか)の3つの視点から、人と動物の関わりをご紹介します。

変わりダネでは、草野心平が鰻屋から生きたまま買ってきて、可愛がっていたウナギ。名前も、最初は「大串」、のちに「つる吉」と名付けました。掌にからだをもたせかけたりするようになったつる吉。甘えて指をそつと噛んでみたり。動物がいることで、作家のエピソードに明るい光が射し、なんだか楽しくなりますね。

区民対象に写真を公募する、写真展「私の大切な動物」も開催します!あなたのお友だちの動物さんを写真に撮って、ぜひ応募ください。

(応募方法等は展覧会チラシやHPをご覧ください)



4・5月のイベント情報

日付	時間	イベント名	場所	講師等	定員	対象	費用	申込
4/17(日)	14:00～14:40	「作家と動物」展示解説 担当学芸員による分室特別展の解説です。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
4/23(土)	A 回13:30～15:00 B 回15:30～17:00	レコードコンサートのオナーデイオによるコンサートです。 五味康祐遺品のオナーデイオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室オナーデイオ担当職員	各回20人	中学生以上	300円 当日払い	4/9(土)★
4/24(日)	14:00～14:40	サポーター展示解説 藤沢周平(作家)と徳岡神泉(画家)の解説です。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：石川敦子 田村昌子 (分室サポーター)	なし	どなたでも	無料	なし
4/29(金祝)	10:00～16:00	古本交流会 不要になった本を持ち寄り交換会をします。	石神井公園ふるさと文化館管理棟内 多目的室	-	なし	どなたでも	無料	なし ※古本の事前受付については★
5/3(火祝)～ 5/15(日)	9:00～18:00	区民公募写真展「私の大切な動物」 「作家と動物」関連の動物の写真展です。	石神井公園ふるさと文化館管理棟内 多目的室	-	なし	どなたでも	無料	4/26(火)★
5/7(土)	14:00～14:20	サポーター展示解説 藤沢周平(作家)の解説です。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：安西久 (分室サポーター)	なし	どなたでも	無料	なし
5/14(土)	14:00～15:30	講座「和」を学ぶシリーズ第1回 「盆栽鑑賞入門! 凝縮された大自然の魅力」 盆栽の歴史や鑑賞方法を、講義で学びます。	石神井公園ふるさと文化館管理棟内 多目的室	講師：田口文哉 (さいたま市立宮益美術館 学芸員)	100人	中学生以上	無料	4/30(土)★
5/22(日)	14:00～14:40	「作家と動物」展示解説 担当学芸員による分室特別展の解説です。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
5/28(土)	A 回13:30～15:00 B 回15:30～17:00	レコードコンサートのオナーデイオによるコンサートです。 五味康祐遺品のオナーデイオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室オナーデイオ担当職員	各回20人	中学生以上	300円 当日払い	5/14(土)★
5/29(日)	10:00～12:00 13:30～15:30	照姫まつりワークショップ スタンプづくりとステンンドグラス作りが体験できます。	石神井公園ふるさと文化館管理棟内 多目的室	-	なし	どなたでも	無料	なし

★の申込方法については石神井公園ふるさと文化館HPをご覧ください。
(http://www.neibun.or.jp/furusato.html)

毎週火・木曜日、2階五味康祐オナーデイオ展示室にて音出しメンテナンスマン実施中! ご自由にご試聴いただけます。

「レクシオン」展開連ワークショップ

「詩(うた)と絵画のハーモニー」
木島始の詩をもとに絵本をつくろう

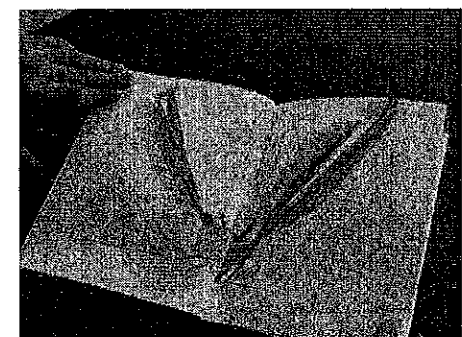
2月21日(日)は、分室コレクション展「ことばってたのしいな」木島始の詩と絵本」にちなんで絵本づくりのワークショップを開催しました。木島さんの作品を鑑賞し、そこから湧いたイメージを絵にして物語を作っていくイベントです。講師は練馬区立美術館の真子みほ学芸員。当日は子どもたちだけでなく、ものづくりが大好きな大人も集まりました。

まずは、みんなで展示室に行つて木島さんがどんな仕事をしてきたのか、どんな作品が生まれたのか勉強会です。それから気になる作品を選び、自分でその作品を書き写してみます。ことばを自分で書き出してみることで、作品をじっくり味わうことができます。あとは作品に沿って自由に絵を描けば、世界に1冊だけの絵本が完成です。「制作中もそれぞれの個性がよく出るからこういう催し物は本当におもしろい。まだ小学生なのに、『先生ほどの詩を選んだの?』なんて大人っぽい質問をしてくる子もいたりして、こっちがびっくりしますね」というのが真子学芸員の感想。

来月以降も楽しい企画をたくさん用意しています。ぜひ、ねりま区報や館内のお知らせをチェックしてみてください。



真子さんの説明に、みんな真剣に耳を傾けます。



できあがった絵本

公園の四季 ~珍客あらわる!~

少しずつ暖かい日が増えてきました。「暖冬」というだけあってか、今年は桜の開花も例年よりもずいぶん早まるらしい、というニュースをあちこちで耳にします。もうじき公園内でも昨年に引き続き、見事な桜を楽しむことができるようになるでしょう。そんな桜の開花に先駆けて、2月から3月にかけては梅の花が咲き始めます。石神井松の風文化公園でも、蠟梅と紅梅の可愛い花々が、散歩をする人々の目を楽しませてくれています。

気候の良い週末は、ボール遊びをする子どもたちやジョギング・ランニングなどで汗を流す大人など、多くの人々で公園も賑わいますが、遊びに来るのは人間だけではないようで(!)、先日は管理棟前に小さなハクビシンの子どもが出ました!約一晩、清掃業者のトラックの近くで暖を取ったあとすぐに姿は見えなくなってしまいましたが、珍しいお客さまの姿に職員一同たいへん驚かされました。



公園の紅梅

グラウンド前の木に登るハクビシン



五味オーディオ通信

五味康祐氏の遺産の公開事業の一環として、五味氏がこよなく愛したオーディオ機器などを公開しています。機器の一部と文学関係資料を「五味康祐資料展示室」に、亡くなる直前まで愛用していたオーディオ機器を「五味康祐オーディオ展示室」に展示しています。「オーディオ展示室」では、このオーディオ機器による、「名盤レコードコンサート」を、7・8月を除く毎月一回開催しています。また、オーディオ機器は定期的に音を出さないと良い音を保つことができないため、毎週火曜日と木曜日に「メンテナンスのための音出し」を行っています。

この「メンテナンスのための音出し」もだんだん多くの方々に知られてきたようで、五味氏のオーディオの「音」を聴くために、わざわざ他県からお出でになる方もいらっしゃいます。先日は沖縄県から家族連れの方が、また、秋田県からお客さまがいっぱいいらっしゃいました。

先日は、視覚に障がいのある方のグループの方々がいらつしやいましたが、そのお一人は盲導犬を連れていらつしやる方でした。そのワンちゃんもレコードの演奏が終わるまで、静かにご主人と一緒に音楽を楽しんでいました。

火・木曜日の午前10時から12時、午後2時から4時はLPレコードやCDで音楽を鳴らしていますので、お時間のある方は是非お出でいただき、五味氏の愛した音楽をお楽しみください。

今月の作品

『藤田嗣治画文集 猫の本』
(講談社 2003年)

フランスやベルギーから勲章を授けられた、乳白色の肌色の美しさ、線の美しさで有名な画家・藤田嗣治(1886~1968年)は、練馬区に住んだ画家のひとりです。戦後の一時期、練馬区小竹町に住んでいました。フジタと云えば、「猫」を多く描いたことでも有名です。そんなフジタの猫の絵を集めた画文集です。総計130匹の、フジタの永遠の友の姿です。



次回・展覧会
「和のくらし 和のことば」(仮題)
平成28年7月3日(日)~10月23日(日)

床の間、上り框、欄間、鴨居。住まいが様式になって、こんな言葉も使われることが少なくなりました。長く日本にありながら、生活様式の変化によって、消えゆくことばたち。

この展覧会では、そうした「和」の暮らしぶりと、寄り添うことばを探ります。和洋の単位比較もしてみます。夏休みの自由研究にもいかがでしょうか。

【発行・お問い合わせ】

練馬区立 石神井公園ふるさと文化館分室
(指定管理者：(公財)練馬区文化振興協会)
〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園管理棟内
Tel:03-5372-2572 Fax:050-3352-2983

アクセス

- ◆西武池袋線石神井公園駅(東京メトロ有楽町線、副都心線直通あり)
 - ・西口から徒歩15分(富士街道沿い)
 - ・北口から西武バス「吉祥寺駅行き」約5分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分
- ◆西武新宿線上石神井駅
 - ・北口から西武バス「成増町行き」約10分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分

